

かんまき 議会だより

第98号
平成28年11月1日号



町政に届け、私たちの声！
(第3回子ども議会)

TOPICS

27年度決算	2～4
9月定例会	5・6
議決結果	7
一般質問	8～13
子ども議会開催される	14
議会日誌	14

決算特別委員長報告

9月5日の本会議で設置された決算特別委員会（委員長・康村委員）は、委員長のほか委員5名で、9月8日から12日までの3日間で行われた。

同委員会に付託された会計は、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計の7会計で、それぞれの会計決算について慎重審議の結果、全委員異議なく原案のとおり認定した。

平成27年度一般会計の決算では、実質収支額は、2億5,092万6千円の黒字となった。経常収支比率は、93・2%、前年度97・2%と比べ4%改善された。

特別会計においては、4会計において黒字決算、水道事業会計において5,429万5千円の資本不足となり、実質収支額は

2億5,092万6千円となった。



★一般会計

【総括】

当初予算76億9,184万5千円に、まちづくりのための大きな事業の策定計画等が盛り込まれ、13億703万9千円と多額の補正となり、最終決算額は、91億6,136万円となった。継続事業や大きな事業が繰り返された平成27年度決算の全体について聞く。

答 子育てや教育について取り組めたという実感を持っている。今後も、福祉・教育は継続性を大切に施策に取り組んでいく。

問 町税の徴収率が前年度と比較して減少となっている中で、税・使用料や手数料等の滞納の収入未済額の増と平成28年度からの債権管理条例の運用についての今後の取り組みについて説明を求める。

答 適正な債権の回収を法に則ってその都度適正に処理する。収入、納入が見込まれないものは、十分調査して、出来るだけ不納欠

損の中で処理をして適正な債権管理を行う。

【歳出】

問 予算の流用に対する考え方や役場内の手続きの方法は。

答 地方自治法にて款・項間の流用は禁止されているが、目・節の流用は理事者側の判断で可能となっている。流用するか補正予算とするかの判断は、主に緊急性を要することを主としている。

問 主要事業のうち、第5次上牧町総合計画の策定について、現状と今後のスケジュールについて。

答 基本構想の策定が終わり、現在基本計画を策定委員会において検討中である。今後のスケジュールとしては、審議会の審議が終わり次第、11月から12月にかけてシンポジウムの開催とパブリックコメントの実施、年明け1月から2月に町長に答申し、議会に上程する。

平成27年度各会計別決算額

		歳入	歳出	平成28年度へ繰越す財源	実質収支
一般会計		85億5,166万円	82億1,710万円	8,363万円	2億5,093万円
特別会計	国民健康保険	33億2,013万円	32億1,975万円		1億38万円
	後期高齢者医療	2億7,618万円	2億7,550万円		68万円
	住宅新築資金等貸付事業	411万円	380万円		31万円
	下水道事業	6億9,399万円	6億9,031万円		368万円
	介護保険	保険事業勘定	15億5,129万円	14億8,811万円	78万円
介護サービス事業勘定		1,563万円	1,513万円		50万円
水道事業会計	収益的収入支出（税込み）	5億740万円	4億4,388万円		6,352万円
	資本的収入支出（税込み）	1,345万円	6,775万円		△ 5,430万円

問 固定資産台帳作成支援業務委託料637万2千円の管理部署と閲覧方法はどのようになっているか。

答 公会計を進める中で、台帳を整備してきた。
作成は総務課で、固定資産、行政財産についての管理・閲覧は住宅土地管理課となる。

問 都市計画道路整備計画の策定予算、約1,100万円が執行されていないのはなぜか。

答 国土交通省からの内示により、補助金が削減されたので実施できなかった。今後、事業を進められるよう、現在、県の担当課と交渉中である。



問 防災士育成助成金20万円は何人受講され、総勢何名か。今後、どのように防災に期待するか。また1年に1回くらい顔を合わせてコミュニケーションを図るのはいかがか。

答 平成27年度は17名。現在81名。11月の防災訓練、そして、防災士と協力して、いろいろな安全



第三小学校学童保育所

問 三小児童保育所増設工事1,447万2千円について、受入れ体制と、全体の現状は。

答 三つの小学校とも70名の受け入れ体制となっている。実際の利用状況は上小61名、二小54名、三小54名となっている。

安心なまちづくりに役立てたい。防災士の集まりは、全員が集まるのは難しいが、今後検討していく。



問 公立幼稚園での一時預かりは、保護者からは安心して預けることができ、助かっているとの声を聴いているが内容は。

答 平成27年度からの新規事業で一時保育である。保育時間終了後、午後4時まで預かる。料金は1回200円、利用人数は215人、延べ回数593回である。

問 庁舎西館についても古い施設であるが、今回の耐震診断を受けの今後の取り組みは。

答 平成27年度の2次診断で庁舎

西館の1階2階部分が弱いとの結果がでた。今年、新たに耐震設計と実施設計を依頼しており、11月ごろに実施設計がでる予定である。その後、財政とも協議して出来るだけ早期に耐震工事をする。



役場庁舎西館

★国民健康保険特別会計

問 平成27年度は、保険税の算定において資産割が廃止されたが、保険税の収納状況はどうであったか。

答 現年度分は、94%となり、過去最高の平成26年度の94.6%を下回った。しかし、平成27年度の県下市町村の平均値93.7%を上回っている。収入未済額は、1、

800万円減少した。

問 保険給付費、高額医療費が前年度比4、396万6千円の増となった要因は。

答 件数は123件減っているが、大きな高額医療があったため。

★下水道事業特別会計

問 歳入の使用料・手数料で不能欠損額は前年度比75万4千円(5.5倍)の増となった。その要因は。

答 貧困によるものが81万円と大きく響いた。

問 下水道建設費で工事請負費・単独事業にある北上牧R171

〜176号線、工事に伴う付帯工事(238万2千円)の説明を。

答 下水道工事で影響を受けた部分の道路舗装工事である。

★介護保険特別会計

問 保険給付費は、平成26年に比べ、3、600万円増加したが、その特徴は。

答 施設介護サービス費が減額し、居宅介護サービス費が増えている。

問 生き生き対策課の緊急見守り事業と、総務課の災害要支援者活動計画事業との横の連絡はどのようであるか。

答 双方の情報を共有して、災害時は取り組んでいきたい。

★水道事業会計

問 給水収益が、予算に対して、3、800万円減額となった要因は。

答 人口の減少、節水、大口使用者の減少で、給水量が、マイナス1、300m³になったためである。

問 建設費で、約1、800万円の減額となった主な要因は。

答 服部台明星線道路工事の減額に伴う配水管工事の減額である。

文教厚生委員長報告

■西和衛生試験センター組合の解散について

問 西和衛生試験センター組合の解散の理由と今後の手続きについて。

答 解散理由は、専門職員がいなこと、検査器具の負担が大きくなってくるため等である。今後は12月の組合議会を経て、平成29年3月末で解散する。

■西和衛生試験センター組合の解散に伴う財産処分について

問 西和衛生試験センター組合のある土地の跡地利用について。

答 現在折衝中であり、条件が整えば売却できればと思っている。

■平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

問 平成30年度から国民健康保険運営が奈良県に移行するが、県と町の役割はどのようなのか。

答 県は財政運営の責任主体になり、市町村ごとの国保運営事業費

を決定する。町は、被保険者の資格管理・保険料の賦課徴収・保険給付の決定等を今まで通り行っていく。

■平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

■平成28年度介護保険特別会計補正予算(第2回)

問 介護ロボット等導入支援事業特別交付金は今年度のみで交付金か。

答 今年度のみで交付金である。

問 町が機器を購入し、各家庭に貸与する際に補助をする「介護ロボット等を活用した見守り支援機器導入促進事業」があるが、この導入を検討したらどうか。

答 今後検討していきたい。

■平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第1回)

問 今回減額補正となった北上牧

の公共下水道汚水管渠築造工事は、当初予算で主要事業と目された事業であるが、今年度は実施しないのか。

答 今年度は実施しない。

■平成28年度下水道事業会計補正予算(第1回)

問 38年経過した三軒屋橋の水道管工事が、当初予算で計上されなかったのはなぜか。

答 予算編成時は、緊迫した状況ではなかったが、その後住民から通報があり、補修する。今後も、経年管路の更新は計画的に行っていく。

以上採択の結果、いずれも全委員、異議なく可決いたしました。

■チーム学校推進法の早期制定を求める意見書(案)

長岡議員より一名の賛成議員と共に提案がありました。石丸議員よりチーム学校推進法だけを早期

に制定させるのではなく、教員の定数改善と一体に進めるべきだと反対討論がありました。また、竹之内議員より、専門性のある指導者が指導にあたることで、部活の種目が増やせることに繋がり、生徒達が部活動に対して選択の幅を広げられるようになると思われる、との賛成討論がありました。あわせて、富木議員より、教員の業務の適正化を図り、教員が子どもたちと向き合う時間を多く確保するためにも早期制定は必要であるとの賛成討論がありました。

採択の結果、賛成多数で可決いたしました。



総務建設委員長報告

■上牧町住宅条例の一部を改正する条例について

問 町営住宅の現況と今後の方針について伺う。

答 第1住宅は経年劣化で空き家を除却する方針であり、第2住宅は耐震が危しい。今後希望のある11戸については、北上牧区内に老人向けシェアハウスを建設し、残された方は第5・第6住宅の空き家に入居してもらう。

■平成28年度一般会計補正予算(第2回)

1億6,336万8千円増額

問 地域少子化対策重点推進交付金204万円はどう使うのか。

答 国からの補助金をつけ、出会い、結婚、子育て応援事業のイベント事業委託料123万4千円、結婚カウンセラー養成講座参加費39万円などに使い、一般財源からは205万8千円を支出する。

問 上牧交差点用地購入費40万6千円について説明を求める。

答 上牧交差点の拡幅については奈良県と上牧町の共同事業として進め、渋滞対策として実施してきた。町道下牧・高田線西側の歩道が一部狭くなる部分があり、通行に支障があるので、約8mを買戻した。

問 学校支援向上事業学習支援員謝礼234万円の増額についての理由は何か。

答 学校支援向上事業としての放課後塾「まきっ子塾」は、家庭学習の支援や学習習慣の定着を放課後、町内の小学校3校において開設される。思ったより多くの参加者があり、アドバイザーの増額分として補正計上した。

問 財政調整基金費・積立金1億5,643万5千円の計上について説明を求める。

答 6月の補正で財政調整基金の残高が9億5,343万6千円となったため今回1億5,643万5千円を積み立て、基金残高が11億989万1千円となった。

以前は基金について10億円は必要との考えではあったが、いつ起こるか分からない大規模災害への備えや、起債の借入れをしないでも財政運営ができるように、今後は20億円程度の基金残高が必要であると考える。

■平成28年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1回)

■地方消費税の清算基準の見直しを求める意見書(案)

石丸議員より、10名の賛成議員と共に提案がありました。

以上採択の結果、いずれも全委員、異議なく可決いたしました。

委員会付託しなかつた議案

■教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、次の方が原案どおり同意されました。

宮城 美和さん (再任)

新町

■人権擁護委員候補者の推薦

次の方が適任と認められました。

中山 眞由美さん (新任)

緑ヶ丘

吉田 幸義さん (再任)

滝川台

福本 重成さん (再任)

桜ヶ丘



平成28年9月 定例会の議決結果

(平成28年9月5日～20日)

○賛成 ●反対 - 除斥 × 棄権 空白は欠席

議 案 名	議決結果	石丸典子	竹之内剛	遠山健太郎	牧浦秀俊	辻誠一	長岡照美	富木つや子	服部公英	堀内英樹	康村昌史	東充洋	吉中隆昭
上牧町ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度上牧町水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
西和衛生試験センター組合の解散について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
西和衛生試験センター組合の解散に伴う財産処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町営住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町一般会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町介護保険特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町水道事業特別会計補正予算(第1回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
チーム学校推進法の早期制定を求める意見書	原案可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
地方消費税の清算基準の見直しを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は採決にかりません

一般質問一覧

遠山健太郎	1. 今中町政の成果と課題について	康村 昌史	1. 戦後処理について 2. 少子化対策について
堀内 英樹	1. 今後のごみ行政とごみ処理基本計画の策定について	富木つや子	1. 災害時の備え 2. 選挙業務の執行 3. 子育て環境の整備
牧浦 秀俊	1. 介護予防、日常生活支援総合事業について 2. 体操教室「ときめきクラブ」について 3. 上牧久渡古墳群について	長岡 照美	1. 命にかかわる熱中症対策について 2. 防災意識の向上について 3. 認知症の高齢者を事故や行方不明から守り防ぐ取り組みについて
辻 誠一	1. 人にやさしい道路行政を 2. 子どもに夢を 3. 町の遊休地・跡地の利用について 4. すむ・奈良・ほっかつ事業	竹之内 剛	1. 発達障がいを持つ乳幼児の支援について
服部 公英	1. 災害時における避難行動について 2. ごみの中継施設について	東 充洋	1. 選挙事務について 2. 就学援助制度について
石丸 典子	1. 介護保険について 2. 私債権の管理について 3. ごみ処理計画について		



遠山 健太郎

今中町政、3期目にむけて！

— 2期の成果と課題をふまえ、引き続き町政運営を—

問 今中町長は、就任以来7年半にわたり、「住民と協働によるまちづくりの推進」を掲げ町政を運営されてきました。定期的なタウンミーティングの開催など様々な政策を実行されてきた中で、総括的な感想をお願いします。

答 今中町長には、強いリーダーシップのもと、健康に留意しながら、来年度以降も引き続き町長に就任頂き、町政運営の舵取りをして頂きたいと思うがいかがでしょうか。

問 今、気力体力ともに大変充実をしています。「ほほ笑みあふれる和のまちづくり」を目指し、議会とも大激論を交わしながら、厳しい行財政の中で今までやってきた政策を引き続きしっかりとやっていきたいと思っております。

全町あげて「ごみ減量」への取り組みを！

—民間委託料・組合負担金は「ごみ量割」で決まる—



堀内 英樹

問 可燃ごみ処理業務の民間委託への手順と行程はどうか。

答 民間委託を行うための「ごみ中継施設」は十月末に竣工する。業者選定については、一般競争入札の手続きを実施したが、参加資格を満たしたのは一社のみであり、随意契約の手続きを進めている。

問 民間委託による可燃ごみの処理委託料は、「ごみ量」によって決まると考えてよいのか。

答 その通りである。ごみの減量が町の財政負担軽減につながって行くので、慎重に進めたい。

問 山辺・県北西部広域環境衛生組合の規約で市町村の負担金は「ごみ量割」と決められおり、ごみ減量への取り組みが求められるが…

答 指摘の通りである。我々としてはどのようにしてごみを減らして行くのか、将来の上牧町の財政運営上において一番重要である。ごみを減量することは、当然各家庭にもそうした認識を持って頂かなければいけないし、特に事業系のごみについても協力して頂く必要があるのではないかと。天理市の焼却場が稼働してからでは遅いので、今から減量に取り組んで行く必要がある。



牧浦 秀俊

介護予防・日常生活支援総合事業が始まる

—新たに平成29年4月から—

問 介護予防・日常生活支援がどのように変わるか。

答 要支援1・2の方を対象とした、ホームヘルプサービス・デイサービスが町の独自サービスに変わる。現在、サービスの種類・内容・単価等が全国一律となっている予防給付のうちホームヘルプサービス・デイサービスについて変更がある。市町村が地域の実情に感じ、住民主体の取組を含めた多様な主体による柔軟な取組により、効果的かつ効率的にサービスを提供できるように見直す。現在、要支援1・2の認定を受け、介護保険でホームヘルプや

デイサービスを利用中の方は今のサービスを引き続き利用することができる。

問 町独自でサービス内容も変わるし、報酬単価も町自体で決めることができ、町の配分が左右すると思うのだが。平成29年4月までには間に合うのか。

答 まだ協議中で、決まっていないことが多い。多様なサービスに係るボランティア等の育成中でもある。町独自サービスも検討委員会で話し合われている。具体的には決まっていないが平成29年4月には間に合わせる。

子ども議会をフォローしました

— 学校にエアコン・ゆるキャラの再考を —



辻 誠一

問 子ども議会では、昨今の暑さ対策から、エアコン、扇風機、網戸の設置等の要望があったが、財政面から否定的な返答であった。他自治体では、PFI事業、国の補助金を利用して実施している所が多い。積極的に、前向きに取り組む姿勢が望まれるが。

答 耐震補強を重点的に進めてきた。PFI事業については、どのような業者が来てくれるのかわからない点もあり、難しいと考えています。

問 初めから難しいと決めつけて否定的になるのではなく、いろいろな可能性を検討するべきと思うが。一方、昨年度は、上



マッキー
社会福祉協議会
のキャラクター

牧幼稚園の全18教室に国の助成も受け、約2,400万円かけて設置しましたね。

答 国からの補助金も含め、可能性を検討していきます。

問 上牧町のシンボルとする「ゆるキャラ」の提案があったが、否定された。夢と希望をかなえるため、再考は？

答 上牧町には確固たる史実がないので、難しい。シンボルが無くて、住民と協働でしっかりと町づくりをやっている、再検討はします。



服部 公英

災害時における避難行動

問 今年は熊本・大分の大地震が起こり甚大な被害を及ぼし8月には気象観測上初めて岩手県に直接上陸した台風が東北地方に大きな被害を及ぼしました。ここ数年で毎年のように大きな災害が起きています。

答 そこで普段から災害に備えることが大切です。そこで今回は、各自治会の避難場所に指定されている公民館や老人憩いの家など安心して避難場所として使える建物なのか、また、耐震診断の今後の計画を聞かせてください。

問 地震が起きたら最初に自分の身は自分で守る、次に最初に近くの公園に一時

避難して頂きます。落ち着きましたら避難場所に移動してください。

答 現在は地域防災計画の避難場所の見直しをかけています。避難場所に指定されている公共施設の内昭和56年以前の建物が13箇所あります。その部分の耐震性が今後問題になって来ると考えています。現在は昭和56年以降の建物で避難場所に指定されている公共施設に避難してください。

問 今後は多種多様な災害に備えた総合的な形で地域防災計画の避難場所の見直しをしてみましたらお示しをしてみたいです。



石丸 典子

訪問・通所サービスは現行維持を

問 平成29年度から、介護保険の要支援1と2の訪問サービスと通所サービスは町の事業（新総合事業）に移行される。現行相当のサービス維持を。また、住民主体による支援は、指定事業者による専門的なサービスを基本的にしたうえで、さらにプラスするよう求めるが計画はどうか。

答 現行相当のサービスは継続させる。生活支援サポートター養成講座を修了したボランティアが行うのはゴミ出しや庭の草取りなど軽易なものを考えている。

問 新総合事業は、財源の上限を国が定めているが、サービス

に必要な財源の確保を。

答 75歳以上の高齢者の伸び率で決められる。

問 新しい事業計画は住民に公開を。

答 現在、西和7町で介護報酬の単価を協議中でまだ決定していない。



康村 昌史

出会い・結婚応援事業について

問 安倍首相が提案している1億総活躍社会は、できるだけ穏やかな人口減少により、日本経済に与える打撃を最小にして、国民生活を守ることを目指していると思われる。希望出生率1・8を達成するために、上牧町が出会い・結婚応援事業を行うことは大賛成で、その内容は。

答 婚活（結婚活動）イベント事業等の啓発活動が大事である。24自治会に協力していただき、この出会い・結婚応援事業のチラシを全戸配布する。

問 イベント事業等の内容は。

答 11月に、恋愛心理学講師による第1回婚活セミナー開

催。

12月に、町内カフェでイベント事業（男女各15人）とその参加者に第2回婚活セミナー開催。

2月に、2000年会館調理室で第2回イベント事業（男女各10人）

問 マリッジサポート育成事業とは。

答 地域で結婚を希望する男女の手助けを行うマリッジサポートの養成講演会も並行して行う。

問 何故マリッジサポート制度を導入するのか。

答 マリッジサポートを育成している地域の結婚率が、全国的に高く成功しているからである。

災害時の安全網を強化

— 救援活動や生活再建に被災者支援システムの活用を —



富木 つや子

問 近年、大規模災害が多発する中、被災者台帳の作成への認識が高まりつつあります。災害発生時には、何よりも人命救助が最優先となりますが、次に必要なのは被災者への支援であります。中でも家を失った住民が生活再建に向けて必要となるのが罹災証明書等であり、行政の素早い対応が復旧・復興には不可欠であります。そこで被災者の情報を一元的に管理できる「被災者支援システム」を平時のうちに、構築していくことは災害・防災対策上極めて重要であると考えますが、本町での導入・

答 現在、町としては住基データの取り込みが終わり、罹災証明書の発行が出来る状況になっております。また、総務省より、防災基本計画の修正の通知がありました。その中の業務継続計画の策定における重要点にも災害時の被災者支援や住民対応には行政データが不可欠であると考えます。このような事も併用しながらまた、被災者支援システムを先進的に導入している自治体を参考に、なるべく早く構築してまいります。



長岡 照美

靴用ステッカー・探知端末機器の活用を

— 「ひとり歩き（徘徊）高齢者」を見守る取り組みに —

問 2015年に認知症やその疑いでの行方不明者は1万2,208人で、毎年増加しています。認知症の高齢者の早期発見に反射シール（登録）を靴や杖に貼ることで目撃者の情報を得られ早期発見に役立つものです。導入の考えは。

答 平成27年度から「認知症高齢者等見守り支援事業」を行なっている。心配な方のご家族の同意を得て登録を行なっている。その中で当事者に目印で持って頂くものも考えています。認知症高齢者も増加するため今後考

問 認知症の高齢者が徘徊した場合に、介護者などが位置を検索できるGPS探知機の貸し出しの基準や周知について伺います。

答 行方不明になっても位置情報が分かる探知機の貸し出しを行なっている。貸し出し基準は基本、徘徊の恐れのある介護度2以上で65歳以上の方です。特例で軽度の認知症、要支援1・2の方についても探知機の貸し出しを行なっています。

えていきたい。

就学前の発達障がいの子どもの療育訓練について

— 町内における療育体制の確立を —



竹之内 剛

- 問** 母子保健法に定められている発達障がいの乳幼児を早期発見するための取り組みについて。
- 答** 母子ともに乳幼児健診と乳幼児相談があり、法的には、2回実施のところ本町では4回実施。必要な場合は保健師が専門機関に誘導する。
- 問** つくしっこ教室の取り組み内容はどのようなものか。
- 答** 保護者同士の相談と粘土等の遊びや行事を行い、保健師により成長発達を援助している。療育を必要とする子どもは参加できない。
- 問** つくしっこ教室に来られない子どもはどうしているのか。
- 答** 電話相談や訪問などきめ細やかな対応を行っている。
- 問** 発達障がいを指摘された就学前の子どもが、ペガサス教室に20名以上相談に通う現状があるが。
- 答** 就学前の療育相談を約20名受けていると認識している。
- 問** 超早期の療育訓練が望まれる中、本町に訓練施設がないことについてどのようになっているか。
- 答** ペガサス教室では、対象外の就学前の子どもにも対応し、業務が過大。予算的には厳しいが、専門職を確保し、前向きに検討したい。



東 充洋

格差のない教育の一步

— 安心して教育が受けられる上牧町に —

- 問** 就学援助の入学準備金が入学後になるため、住民の方々から入学前に間に合うような制度にしてほしいとの声がある。
- 答** 就学援助金については、新学期の家庭訪問で状況を把握し、学校長から申請書が届くのと各家庭の当該年度の住民税が確定するのが5月になる為、例年7月頃の支給となっているのが現状であるため、今後1ヶ月でも早く支給できるように努力していきたい。
- 問** 行政として公平さを求めるために、当該年度の住民税が確定後に決定・支給
- するということ事も理解はするが、しかし、2016年6月24日、国会で文科省の初等中等教育局長が「児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給できるよう十分に配慮するよう通知している」と答弁し、「要保護者への支給は年度の当初から開始し各費目について児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給することが出来るよう十分に配慮すること。特に、新入学生と学用品等」と通知されている。
- 答** 通知は知っている。今は1ヶ月でも早く支給できるように努力し、検討したい。

子ども議会開催される

平成28年8月8日に上牧中学校、第二中学校の生徒12人により、子ども議会が開催されました。

まず、議会事務局より議会の仕組みについて説明を受け、議長を選出し、議場に移り一般質問をしました。多岐にわたり、内容もしっかりしていて、職員も懸命な答弁でした。

- 質問内容**
- ① 各教室にエアコンを設置してください。
 - ② 町内の公共施設ベガスホルルの利用状況について。
 - ③ ごみ袋の料金について。
 - ④ 中学校のグラウンドの環境整備をお願いします。
 - ⑤ 町内の災害対策について。
 - ⑥ 校舎全体の窓や出入り口に網戸の設置と、教室の冷房機の設置のお願い。
 - ⑦ テニスコート周囲の防球ネット。
 - ⑧ 町のPR活動について。



- ⑨ 夏祭りく火大会の実施について。
- ⑩ 冷水機を増やしてほしい。
- ⑪ 町内の信号機のLED化と歩車分離信号化のお願い。

議会日誌

29日	27日	20日	19日	16日	15日	8日・9日	7日	6日	5日	1日	(9月)	31日	26日	25日	19日	8日	5日	(8月)	30日	29日	27日	26日	22日	21日	19日	13日	12日	6日	(7月)				
王寺周辺広域市町村圏議長会	町シルバー人材センター理事会	第3回定例会(最終日)	広報委員会	町敬老会	一般質問(5名)	一般質問(6名)	12日 決算特別委員会	総務建設委員会	文教厚生委員会	第3回定例会(初日)	議会運営委員会	総合計画審議会(第5回)	山辺・県北西部広域環境衛生組合議会	外視察研修	26日 奈良県町村議会議長会県外視察研修	議会運営委員会	議員懇談会	子ども議会	葛城地区清掃事務組合議会	奈良県民集会	第3回ごみ処理問題特別委員会	議員人権研修会	第4回臨時議会	奈良県広域消防組合議会	監査委員研修会	第4回臨時議会	山辺・県北西部広域環境衛生組合議会	議員懇談会	議会運営委員会	正副議長研修会	差別をなくす町民集会	広報委員会	社会を明るくする運動

**次回の定例会は
12月5日開催予定**

- ・第4回上牧町議会定例会
平成28年12月5日(月)
午前10時から
- ・議会運営委員会
平成28年12月1日(木)
午前10時から

編集後記

▼議会の模様をお知らせするのがこの「かんまき議会だより」です。
▼上牧町ホームページでも、インターネット中継でも、ライブ中継・録画中継で審議の内容を確認することができます。
▼町民の皆様は、身近で開かれた議会を目指して、広報委員会一同、努力しています。

広報委員会

委員長 辻 誠一
副委員長 牧浦 秀俊
委員 石丸 典子
委員 竹之内 剛
委員 遠山健太郎
委員 長岡 照美
委員 堀内 英樹

☎ 0745-76-1001
☎ 0745-76-1003